

No		2106									
提案者		岐阜県中津川市									
提案タイトル		超高速交通網との接続にむけた自動運転ネットワークの導入と地域拠点整備による新たな人の流れ創出事業									
実装内容		実装内容1：自動運転技術の導入・運営 実装内容2：自動運転予約アプリの開発 実装内容3：拠点の創出・運営									
現地支援責任者		中部地方整備局 多治見砂防国道事務所 事務所長 加藤 仁志									
2022年度に実装を目指す主な技術/事業		自動運転、VR/AR									
本格実装に向けたスケジュール	2021年度の主な取組	【地域拠点の設計】 ・自動運転ルートの立ち寄りスポットとなる、地区内の古民家等を改修した地域拠点の設計に向けた検討を行う。本年度は地区内の拠点等の交通施設（バス停）に、地元木材加工業者と連携して、ベンチ等を作成・設置。 【実証実験に向けた準備】 ・地域住民と訪問者双方の目的に適したルートの検討 ・予約システム(アプリ)の構築 ・地域団体等へ実証実験を含む今後の取り組みに関する説明会を実施。 【実証実験の実施】 ・12月上旬より1週間、予約システムを使い自動車(ハイエース車両)を地区内走行させ、移動・輸送のニーズを把握する ・住民アンケート及びプローブパーソン調査の実施による潜在需要の把握。									
	2022年度の主な取組（予定）	【地域拠点の整備】 ・地区内の地域拠点のリノベーションに向けた設計、一部実施。 ・オンライン拠点としての整備（WEB活用した情報発信） 【実証実験の実施】 ・予約システム(アプリ)／自動走行については、東大との共同研究の取り組みを活かし継続して実施									
	2023年度の主な取組（予定）	【地域拠点の運用】 ・地区内の地域拠点の実運用に向けた課題を検証 ・リノベーション後の実際の運用を模擬したプレサービスを実施 【実証実験の実施】 ・予約システム(アプリ)／自動走行については、東大との共同研究の取り組みを活かし継続して実施									
		2021年		2022年				2023年			
		10～12	1～3	4～6	7～9	10～12	1～3	4～6	7～9	10～12	1～3
実装内容	住民説明会	●		●	●	●	●	●	●	●	●
	付知地区における実証実験		●		●	●	●		●	●	●
	効果検証										
	住民アンケート及びPP調査										
東大との共同研究（計画策定・ニーズ検証）											